

所属	商学部	身分	准教授
氏名	平澤 哲		
NAME	Hirasawa Tetsu		

1. 研究課題

(和文) ソーシャル・イノベーションの実現に向けた社会的起業家の学習過程の解明

(英文) A study of social entrepreneurship: the leaning process to realize social innovation

2. 研究期間

2年間

3. 研究の概要（背景・目的・研究計画・内容および成果 和文 600 字程度、英文 50word 程度）

(和文)

研究目的：社会的な課題・問題をビジネスにより解決していく社会的起業家に対する関心が急速に高まりつつあるが、経験的調査は不足している。特に、如何にして社会問題の背後の制約を克服し、ソーシャル・イノベーションを生み出し、社会の中に定着させていくのか、という日常実践は十分に解明されていない。この過程を明らかにすることが本研究の目的である。

研究方法：ローカルな文脈における社会的起業家と利害関係者の日常行為や主観的な意味解釈を理解することにより、ソーシャル・イノベーションの過程を解釈的なアプローチに基づく定性的な研究により解明することにした。最初は、雑誌・記事及び学術文献を幅広く検討し、社会的起業家の現状や学術研究の進展を把握した。また、日本マネジメント学会の訪問調査に参加し、東日本大震災後の石巻の水産加工業者の現状と取組みを視察した。これにより、企業再生のみならず、地域社会の復興に向けた取組みや課題について情報を集めた。その後、社会的起業家に接触を始め、起業家の行為や利害関係者との相互作用を通じてイノベーションを生み出し、社会問題を事業機会に転換させる過程について学習理論をベースに分析した。

研究の到達点：社会問題の多くは、社会の規範や慣習などの文化的な条件により発生・強化されている側面が強くあり、社会的起業家はビジネスの仕掛けとしてのイノベーションのみならず、社会制度や関係する諸機関の文化を変えるための学習活動に力を注いでいることを見出し、このパターンをモデル化するとともに、理論的・実践的な示唆を考察した。

研究成果の報告：国内学会で成果を発表し、学術論文として出版する予定である。

(英文)

This study examines the actual process of social entrepreneurship in practice. In particular, it explores how entrepreneurs realize social innovation through qualitative research method. It discovers social entrepreneurs make effort to change prevailing norms and existing institutes that are enforcing such norms. Then the study presents a process model of active learning through which entrepreneurs bring social innovation.

4. おもな発表論文等（予定を含む）

<p>【学術論文】（著者名、論文題目、誌名、査読の有無、巻号、頁、発行年月）</p> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>
<p>【学会発表】（発表者名、発表題目、学会名、開催地、開催年月）</p> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>
<p>【図 書】（著者名、出版社名、書名、刊行年）</p> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>
<p>【その他】（知的財産権、ニュースリリース等）</p> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>